



平成 26 年 11 月 号

目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長 柴田政宏
宗教編	
法話	得勝寺 本荘一治… 1
医学編	
日本の難病行政とポルフィリン症	生理学講師 近藤雅雄… 3
女性は7の倍数、男性は8の倍数	長生学園教師 大見川義則… 7
米寿と他力 ～大村基實先生の米寿を祝う会～	
	日本長生医学会旭川支部長 大村和彦… 9
随想編	
大根おろし	東京都 毛里美穂子…14
宇治平等院が美しく	京都府 田中隆之…16
初めての総合司会の反省記	大阪府 宮崎正人…18
京都御所・二条城をめぐる	東京都 藤澤公子…19
長生SNS症例検討会	日本長生医学会広報部…21
支部報告	…24
平成27年度(第60期生)長生学園学生募集要項	…27

日本長生医学会

会長の言葉

総本山長生寺管長 柴田政宏
日本長生医学会会長

今月は、報恩講が執り行われます。真宗におきましては、最大の重要行事と成ります。私共に極楽往生の道をお示し下さいました親鸞聖人、並びに長生派開祖長生上人に感謝申し上げる行事では有りますが、私共一人一人が真摯に自己を見詰める機会として捉える事も重要ではないでしょうか。

真宗は、絶対他力平生業生の^{へいぜいごうじょう}教えで、臨終に際しまして阿弥陀様の世界に転生出来る事が確約された教えで有ります。このような世界観を長い時の中、伝承下さったご先祖様や、多くの先達の皆様のお陰様で、今の私共が存在する事に思いを寄せなければなりません。

人の心は常に揺り動くもので、煩惱を捨て去る事など一瞬も無いと親鸞聖人は教え示されております。私共は忙しい日常の中で、人を恨む、憎む、嫉妬をする、批判すること等は、日常茶飯事な事でしょう。人に感謝をする事に比べれば圧倒的に多いことで、感謝の心に満たされる事は少ないことなのです。

今、こうしてこの時に生きて居られるのが当たり前、幸せでいる事も当たり前、総てが当たり前と想っていても、明日も幸せでいられるのか誰にも解らない事なのです。ましてや幸せと思う尺度も人それぞれで違う事なのです。豊で食糧にも満たされ、お金さえ出せばありとあらゆる物が手に入る世の中です。しかし精神的に満たされている方々は少ない様に感じてしまう世の中ではないでしょうか。

海外に目を向けると、未だにスラム街など非常に不便な中で生活している方々が大勢いらっしゃいます。お金が無いから不幸なのか考えますと、お金ではなくそこで暮らす人々の心の豊かさに決まっているように思われて仕方ありません。他人を思いやるか、自分させ良ければそれでいいのか、その様な差で決まるのではないのでしょうか。

日常を無事に平穏に暮らせるのも、他人を思って汗を流して下さる方がいらっしゃるお陰なのです。全ての事柄で、「ああ有難い」と思う感謝の心を持ち続ける事で、真の幸せを得ることが出来るのではないのでしょうか。

「報恩感謝」人間は幸福を追求する生き物だとの言葉がございますが、幸福は感謝の心無くして語れないのではないかとと思われるのです。

合掌